

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立神戸高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		高品位な進学伝統校を目指し、不断の進化を続けます。 生徒、保護者、地域社会から信頼され、期待される学校づくりを進めます。
(2)	育みたい 児童生徒像	新たなことに積極的に挑戦する「気概」と困難に立ち向かう「勇気」と神戸高校生としての「誇り」を持って高校生活を送っている。
	ありたい 教職員像	教職員集団が自立・進取の気概と協働の精神を備え持って教育活動に精励している。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		〈生徒〉 学力の向上、充実した高校生活、手厚い進路指導 〈保護者〉 子どもの学力向上、基本的な生活習慣の確立、確かな進路保障 〈地域社会〉 伝統校としての進学実績の向上、地域を担うリーダーの育成	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	〈保護者〉 学習・進路・生活面でのきめ細かい指導 〈地域住民〉 地域の将来を担うリーダーの育成 〈中学校〉 地域の進学校としての存在意義 〈地元大学〉 目的意識の醸成、基礎学力の育成	〈保護者〉 学校と家庭間の連携と信頼関係の構築 〈地域住民〉 キャリア教育充実のための連携・協力 〈中学校〉 生徒の学習習慣・生活習慣の確立 〈地元大学〉 高大連携の充実・促進	
(3) 前年度の学校関係者評価等		○ 生徒の家庭学習にかかる目標が達成されていないため、阻害要因の一つと考えられるスマートフォン等の利用実態を調査することや、課題の量の調整を個々の教員任せではなく、学校全体で取り組んだりすることが必要である。 ○ キャリア教育の取組は概ね評価できるが、大学進学後の学習を有意義なものとし、将来社会人として活躍するためには、高校生在学中に職業についての知識や理解を深めておくことも必要である。 ○ 防災意識の向上を図るためには、校内だけで防災訓練等に取り組むのではなく、地域社会と連携した取組を進めていくことが必要である。	
(4) 現状と課題	教育活動	生徒の幅広い進学ニーズに対応するため、理数科・普通科とも学習環境の充実に努めている。理数科については、入学段階での宿泊研修の実施、大学との連携、スプリングセミナー等独自の取組を行っている。また、1年次から数学・英語で習熟度別少人数授業を実施している。 普通科については、個々の生徒に応じたきめ細かい指導が可能となるよう、多様な選択科目や学校設定科目を設置するとともに、1年英語及び2年理系数学で少人数教育を実施している。	
	学校運営等	大規模校であることから、組織全体の情報共有が図りづらく、学年単位での取組が中心となる傾向がある。学年主体の取組を中心にしつつも、学校全体で統一した動きができるような体制の構築を図っていく必要がある。 中学校・大学との連携は一定できつつあるが、小学校との連携が弱い面がある。小・中・高・大と連続した連携の体制を構築していきたい。	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力の向上とキャリア教育の充実 生徒が確かな学力を身につけるとともに、自らの希望する進路が実現できるよう取り組みます。 ○ 教職員の資質向上 教職員が指導力を高め、生徒一人ひとりに対応した、きめ細かい指導を行います。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者・地域からの更なる信頼確保 保護者や地域からの期待に応え、将来地域を担う人材を育成するよう取り組みます。 ○ 規範意識の向上 人権感覚あふれ、安全・安心でかつ規律ある学校生活・教育活動を展開します。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学力の向上	(1) 生徒の授業理解度・満足度の向上を図ります。 〈授業の内容を理解できる生徒の割合：80%以上〉	(1)各学年の授業の理解度 1年 81.5%、2年 81% 3年 76.9% [授業の満足度 1年 81%、2年 82% 3年 80%]	◎
	(2) 生徒の家庭学習の充実を図ります。 〈平日の家庭学習2時間以上の生徒の割合：65%以上〉	(2)各学年の平均 1年49%、2年 34% 3年91%	※
キャリア教育の推進	(1) 進学指導を軸としたキャリア教育を充実します。 〈国公立大学合格者数の増加〉 (2) 「しごと密着体験」の取組充実を図ります。 〈参加生徒数30名以上〉	(1) 国公立大学合格者は61名 (2)参加者数2年生7名。1年生の参加促進が必要。	◎
人権教育の推進	(1) 生徒及び教職員の人権感覚の向上に取り組みます。 〈研修会・協議会の実施：各年3回〉 〈いじめの認知件数：0件〉 (2) 教職員間の連携を深め、教育相談の充実を図ります。 〈教育相談推進委員会の開催：毎月1回〉	(1)各学年の研修会は予定どおり実施。協議会は2回実施。3回目は2月実施。 いじめ認知件数3件。 (2)教育相談推進委員会は予定どおり月1回開催。 要支援生徒は増加。	※
規範・防災意識の向上	(1) 生徒の情報モラル向上に取り組みます。 〈SNSに関する問題行動：0件〉 (2) 生徒の交通マナーの遵守に努めます。 〈自転車・バイク事故の件数：15件以下〉 (3) 生徒・教職員の防災意識の向上に努めます。 〈防災講演会・防災訓練：年間各1回〉	(1)SNSのかかる問題行動は現在0件だが、起こりうることを前提に指導が必要。 (2)21件発生。 (3)講話と訓練を一体的に7月に実施。	※

改善課題

- 授業理解度は各学年80%近くもしくはそれを超えている状況であるが、今後、授業の理解度や満足度を向上させるため、授業改善等工夫が必要である。
- 自転車等の事故件数が指標を上回った。引き続き安全対策に注力する必要がある。
- いじめ認知件数は昨年度は0であったが、本年度は3件の報告があった。今後、策定した「命を大切に教育」の年間計画に取り組む必要がある。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
教員の指導力・意識の向上	(1) 研修体制を強化し、教員の指導力向上を図ります。 〈教科指導にかかる研修会の実施：年2回〉 〈校外研修会等への参加：教員1人平均1回以上〉 (2) 教職員のコンプライアンス向上に取り組みます。 〈コンプライアンス・ミーティング：年間3回〉	(1) 11月と1月に計2回予定。校外研修会への参加者数47人。 (2) 事務は3回実施、教員は2回実施	◎
職場環境等の改善	(1) 教職員の総勤務時間縮減に努めます。 〈教職員の休暇取得：月平均2日〉 〈管理職による随時の声かけ〉 (2) 教職員間・管理職間の円滑な意思疎通に努めます	(1) 昨年度より、口頭による復命を実施。本年度「ノー残業デー」を試行した。教職員の休暇取得は月平均1.4日 (2) 管理職間の会議を週1回定期的実施。	※
保護者・地域等との連携促進	(1) 中学校、地域等への広報活動を促進します。 〈中学校への教員訪問：年3回〉 〈中学生及びその保護者等への学校説明会：年3回〉 〈ホームページの更新：随時〉 (2) 保護者と協働し、生徒の学校生活充実に努めます。 〈地区懇談会の開催：全13地区〉 (3) 地域の小中学校との連携を促進します。 〈小中学校との連携企画：年3回〉	(1) 中学校訪問、学校説明会は予定どおり実施。ホームページの更新は随時実施 (2) 地区懇談会は6月に全13地区実施、参加者数は計240人 (3) 小中高吹奏楽合同演奏会を実施。 中学校の土曜スクールに延べ44人参加。 小学校での実験教室は未実施。	※

改善課題

- 今後、高大接続あるいは能動的な学習（アクティブラーニング）への取組を推進していく必要があるため、研修会等の充実を図っていく必要がある。
- 勤務時間の縮減については、個々の教職員が常に意識して取り組むことが肝要であるため、「ノー残業デー」の本格実施や休暇の計画的な取得をすすめていく必要がある。
- 小中高大の連携をさらに促進するため、高校3年間を見通し、系統的に取り組む必要がある。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none">○ 生徒の家庭学習時間を増やすとともに、進路希望の実現に向け、学習意欲の喚起や目的意識の向上を図る。○ 自転車等の交通事故をなくすため、交通安全教育の充実を図る。○ 生徒のコミュニケーション能力を高める必要性があることから、次年度の行動計画の中にコミュニケーション能力を向上させる取組を盛り込む。○ 部活動をとおして、マナーや規範意識等を身に付け、リーダーシップを発揮できる生徒の育成に取り組む。○ 教職員の総勤務時間の縮減、過重労働の削減に取り組む。
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none">○ 進路ガイダンスや講演会、職業体験の取組充実等、キャリア教育を確立させることで、学習意欲を高め、将来の目標を持ち、自分の適性に合った進路選択ができるようする。○ 授業方法を工夫することにより、生徒同士が話し合う機会や自分の考えをまとめて発表する機会を充実させ、コミュニケーション能力の向上を図る。○ 交通安全にかかわり外部機関と連携した講演会や実技講習等を充実させることで、生徒の交通マナーの向上を図る。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">○ 国の高大接続改革や学習指導要領の改訂を見据えて、本校の目指す姿や生徒のあるべき姿等について協議する委員会を新たに設置する。○ 教員の資質や生徒の学習意欲を向上させるため、外部講師を招いた研修会を充実させるとともに、教員の授業互見を推進する。○ 「ノー残業デー」を実施することにより、総勤務時間の縮減を図る。○ 小中高大の一貫した連携促進に関して、小学校との連携が弱いことから、科学実験教室を実施するなど、小学校との連携を深める取組を進める。